

突然の雷雨に襲われ中止に 第40回岡田夏まつり！

岡田公民館前の夏まつり会場はその中央に位置し、電混じりの集中的な雷雨と突風に見舞われました。準備に当たっていた方は「台風並み

7月26日午後3時過ぎ、松本市東部を覆った雷雨が局地的な大雨、突風をもたらしました。国道143号、山浦杏地区においては3時15分倒木の一報が松本建設事務所に入り、8時15分まで撤収作業を行い、一時通行止めになり、岡田周辺が停電となった

り、消防団17分団は東区田中地区を流れる大門沢川水系の冠水の警戒に当たるなど、各所で影響がありました。

風対策を施していたものの、突風のあおりを受けたテントは、慌てて脚を押さえても、押さえきれぬものもあり、一瞬のうちにほとんどの会場は無残な状況になってしまいました。各町会、協力団体のブースでは準備を進め、開場まであと1時間程に

7月26日午後3時過ぎ、松本市東部を覆った雷雨が局地的な大雨、突風をもたらしました。国道143号、山浦杏地区においては3時15分倒木の一報が松本建設事務所に入り、8時15分まで撤収作業を行い、一時通行止めになり、岡田周辺が停電となった

当日の経過

14:00頃～	各ブースが午後の準備開始
15:00頃～	暴風雨、雷、降雪。被害甚大
15:50頃	夏まつり中止及び打上げ花火実施を決定(地区内周知不可能)
16:00頃～	徐々に天候が回復。片づけ作業
17:00頃～	来場者あり。数ブースが出店・販売(可能な範囲)
19:00	ブース販売終了(アナウンス)
20:00～ 20:20頃	打上げ花火

5時頃の会場には、人々が集まり始めていました。被害が軽かったJA女鳥羽支所青年部の用意したスイカ、女性部は野菜の販売を継続。バレーボール友の会も焼きそばや飲み物の販売で来場した方々にも夏まつりらしい雰囲気を作り、「演奏がなかったりして、みんながっかりしていたけど、浴衣姿でくる若者や、焼きそばなどを買い求める人が列をなしていて、中止になったとは思えない」と来場し

テントが飛び交い、机、椅子が散乱、激しい雨に食材、機材は水浸し、発電機材の故障による照明確保の困難等、一変した会場の状況から「大変残念だが、夏まつり恒例の花火の打上げは予定通り行うが、会場でのイベント、飲食等の販売ブース等夏まつりの中止を決定するという苦渋の判断でした」(夏まつり実行委員会)



16:00頃 テントが散乱する会場



17:30頃 賑わう会場

「中止の周知が限られ、多くの方が来場されることになったが、夏まつりに寄せる岡田の方々の期待感がよくわかりました」(鳥羽町会連合会長) 8月19日に夏まつり実行委員会が開かれ、来年度の方針、被害等に関する対応や協力券の取り扱い等について話し合われました。

伊深 フランクフルトは、茹で上がったものを10本単位の原価割れで販売。
塩倉 綿あめを販売できずザラメを役員で持ち帰る。
消防団 テントは壊れボスターは飛散したが、ブースに集まっていた数名で、ポンプ車や消防車の撮影会を実施。

ヨー釣りやスパーボールすくい、8月8日の親子ふれあい大会で児童・園児に無料で楽しんでもらうことができた。
山浦 かき水機は4台中2台が落下横転し破損。用意した水は廃棄。
神沢 ドーナツなどはトランプ販売し、原価割れで全て販売。



18:10頃

岡田町 焼鳥4200本は、そのほとんどが落下、水濡れ等で廃棄。飲み物だけは販売。
松岡 調達食材(もろこし、もつ煮)を販売グループの熱意により完売できた。
謝。 事に感謝。

町会等のブースから

おがた

令和7年9月1日現在

世帯数 : 3,392 戸
男 女 計 : 3,624 人
男 女 計 : 3,744 人
男 女 計 : 7,368 人

岡田 ぼくと ニュース

● 東 区 ●

のみに減少したという。しかし、一時停止線でしっかり止まらない車もよく見かけ、ヒヤリとする場面にも。引き続き丁寧な運転が大切だと感じる。

また、岡田小学校周辺では原橋交差点、浅間橋交差点、松岡交差点などでも出会い頭の事故が多いそうだ。青木警部補は「交通事故は交通量の多くなる朝夕方の通勤・通学時間帯に多い。安全運転機能のついていないサポートカーもあるが、その機能に頼りすぎず、速度を控えめにし、注意深く運転してほしい」と話す。車は便利だが、使い方を誤れば命を脅かす凶器になる。岡田の道を誰もが安心して通れるよう、余裕を持って安全運転を心掛けたい。

(東区 松澤 剛毅)

私たちが暮らす東区には住宅が密集する細い道や、見通しの悪い交差点が多い。また保育園や小中学校もあり、通学路がいたる所に張り巡らされている。特に岡田神社参道のケヤキの前の交差点は交通量が多く、登下校の時間帯には多くの児童生徒が通る。この交差点では市民の要望を受け、令和5年3月に岡田体育館から南に向かう道路にも一時停止の規制が設けられた。規制されてからのこの交差点の事故状況の変化を、松本警察署交通第二課の青木喜代孝警部補に伺った。規制前の1年間の事故は11件、人身事故が3件、物損事故が6件発生している。規制後の1年間の事故は11件、人身事故が1件、物損事故が1件発生している。



規制が設けられた交差点



災害が起きた時、私たちに何ができるかな

岡田地区子ども会育成会は、8月6日、初企画の「防災・科学お楽しみ講座!」を行いました。防災士の資格を持つ和久井悟氏を講師に、防災クイズをしたり、架空の街の地図を使ってどこが安全か考えたり、限られたサイズの非常袋に何を入れるか、などワークショップを通して学びました。お昼は、パックご飯が携帯用カイロで炊けることを学び、実際に作って食べました。子どもたち一人でも作れる防災食のパックご飯に「かためだけど、もち米のような感じでおいしかった」と感想が聞かれました。午後の科学工作では高山康先生(清水小)を講師に導通口ボットを作りました。「配線など難しいところもあったけど、おもしろかった」と参加した子どもたちは防災の新しい知恵、科学の不思議さの発見など、多くのことを学んでいました。



今年、後何年...」とフト思うことがある。生物学的に本来人の寿命は五十〜六十年で、今は栄養価の高い食生活、医学の発達で世界トップクラスの平均寿命国となっている。自分も今は少し血圧が高く薬を服用している程であるが七年前「脊柱間狭窄症」の手術をした。当時

今年、後何年...」とフト思うことがある。生物学的に本来人の寿命は五十〜六十年で、今は栄養価の高い食生活、医学の発達で世界トップクラスの平均寿命国となっている。自分も今は少し血圧が高く薬を服用している程であるが七年前「脊柱間狭窄症」の手術をした。当時

生活雑記

思う...

神沢 神澤おじさん

時両脚の痛み・痺れで五十メートル程しか歩けず、痛みに耐えている姿は他人からすれば、滑稽に見えていたかも知れない。開業医から紹介され総合病院で診察、生活に支障あるので手術を決心した。医師からは「年齢からしたら十年早い」診察の度に「本当に手術する?」と念押しされ半年後手術。術後経過観察も五年目に終了し今は腰痛が有るものの脚への痛み・痺れは無く生活出来ており手術してよかったと思っている。が、こんな経験(手術)は二度としないと決心している。年齢を聞かれると、「まだだまだ若い、これからだよ」と言われるが、特に趣味も無い自分にとっては悩みの種である。人生は長さではなく、どれだけ経験をしたか、自己満足だと思っている。ペンコロの終わりを迎えたいと思っているところだが、みんなからは「あなたは長生きする」と言われがち(笑)。

球技大会中止

第1回大会がいつの様な形で行われたのか年数経過における競技の増減など詳しくは不明ですが、長年続いていた岡田地区町内公民館親睦球技大会(旧名称:町内公民館対抗球技大会)が今年度以降中止に決まりました。各地区の交流の場でありましたが、参加者が減少し人数を集めることもままならず役員の負担などが課題となっていました。このような交流の場が減ってしまうのはとても残念なことではありますが、近年の状況などを考えると致し方ないのかもしれない。地区や隣同士の交流はなにか違う形でも続けていければと思います。